

徳川美術館 プレスリリース
2023年5月：改定版



徳川美術館 蓬左文庫
THE TOKUGAWA ART MUSEUM HOSAJI LIBRARY, CITY OF NAGOYA

Special Exhibition *The Aesthetics of Edo Attire*

2023.
6.3 (土)・7.17 (月・祝)

主催：徳川美術館・名古屋市蓬左文庫 協力：名古屋市交通局



特別展

展覧会概要

江戸時代の武家社会では、身分や年齢、季節や儀礼などによる細かな決まりごとのなかで、格式に相応しく、おごそかに、あるいは美麗によそおうことが求められました。男性は儀礼など最もフォーマルな場面では公家の伝統的な装束を身に着ける一方、日常のカジュアルな場面で着用する羽織はおりや刀剣の拵こしらえ、また火事装束や陣中着などに武家ならではの粋を凝らしました。女性は生地や模様によって格の異なる着物を時に応じて使い分け、華麗な筥迫はこせこを身近に置き、化粧によって美を体現しました。

尾張徳川家で誂えられた衣服や装身具などをトータルコーディネートの演出でご紹介しつつ、それぞれの作品に込められた「よそおい」にかける武家の美学を探ります。

展覧会基本情報

- ◆展覧会名 特別展 よそおいの美学
- ◆会場 徳川美術館 本館展示室
- ◆会期 2023年6月3日(土)～7月17日(月・祝) ※会期中展示替あり
- ◆開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- ◆休館日 月曜日 ※但し7月17日(月・祝)は開館、翌18日(火)は休館
- ◆観覧料 一般1,600円 高・大生800円 小・中生500円
※20名様以上の団体は一般1,400円 高大生700円 小中生400円
※毎週土曜日は高校生以下入館無料
- ◆主催 徳川美術館 名古屋市蓬左文庫
- ◆協力 名古屋市交通局

プレス内覧会

2023年6月2日(金) 午後1時30分～3時 (午後1時受付開始)

会場：徳川美術館 講堂

内容：展覧会担当学芸員による概要解説の後、自由取材

※ご一緒に同時期開催の企画展「極める！江戸の鑑定」もご取材いただけます。

序 よそおいのきまり

武家のよそおいには、身分（地位）や職務を示す役割があり、さらに年齢や季節・場面に応じた細かなきまりがありました。

江戸時代の大名家のよそおいの実態は、同時代の絵画や、儀式・風俗などの研究書、後世の覚え書きなどから研究されています。もちろん現存する衣服や装身具は大きな手掛かりです。徳川美術館には、徳川家康から幕末期の尾張徳川家 14 代慶勝・16 代義宣の用いた品々までが遺されています。江戸時代のよそおいを通覧できる重要な作品群です。



【画像1】 上：石首魚石入蠟色塗刀拵
いしもちいしりろいろぬりかたなごしらえ
下：石首魚石入蠟色塗脇指拵
徳川慶勝（尾張家 14 代）所用
安政 4 年（1857）
徳川美術館蔵

第1章 殿のよそおい



【画像2】
黒羅背板地葵紋付波文火事羽織
江戸時代 17 世紀
徳川綱誠（尾張家 3 代）着用
徳川美術館蔵
6 月 29 日～7 月 17 日公開

よそおいのきまりは、特にフォーマルな場面で厳格に守られていました。尾張徳川家のように地位の高い大名の場合、最も重要な儀式では朝廷の礼装である束帯・衣冠、それに準じる場では武家の伝統的な装束である直垂を着用する必要がありました。上下揃いの袴は、素材の違いや袴の裾の長さによって、準礼装から今でいうビジネススーツに至るまで幅広い用途をカバーできました。

日常着である羽織や、戦や火事の際に身に着ける陣羽織や火事装束には、輸入した貴重な布を用いたり、目を引くデザインにするなど、好みが反映された多様な品が遺されています。



【画像3】
黄金色地葵紋波兎文辻ヶ花染羽織（復元）
榊染技連 文化財修理所製作
現代 平成 17 年（2005）
徳川美術館蔵
6 月 3 日～27 日公開

第2章 姫のよそおい

武家の男性と同様、女性のよそおいも身分や年齢、季節や場面に応じて細かく定められていました。正月三が日の行事は一年のうちで最も重要な儀式であり、将軍家やごく限られた有力大名では、朝廷の礼装である桂・袴を着用しました。それに次ぐ年中行事などの場では、冬季には綸子地の打掛に袴を着け、夏季には麻地の帷子に腰巻を着けるきまりでした。

儀式後の着替えには縮緬地に染めや刺繍のある準礼装の模様物、さらにカジュアルな日常着には縞・縹などがあり、場面に合わせて一日の内に何度もお召し替えをしました。



【画像4】
黒地子犬に雪持万年青文管迫
江戸 - 明治時代 19 世紀
徳川美術館蔵
6 月 3 日～28 日公開



【画像5】
金地胡蝶文管迫
江戸 - 明治時代 19 世紀
徳川美術館蔵
6 月 29 日～7 月 17 日公開



【画像6】
白綸子地鼓に藤・杜若文小袖
貞徳院矩姫（尾張家 14 代慶勝正室）着用
江戸時代 19 世紀
徳川美術館蔵
6 月 3 日～28 日公開

イベントのご案内

土曜講座 武家のよそおい—ルールと美学—

講師：学芸員 安藤香織

日時：6月10日（土）午後1時30分～午後3時（開場：午後1時）

会場：徳川美術館 講堂

定員：80名（事前申込制で既に満席 / 当日空席があった場合のみ先着で受講可）

受講料：800円（入館料別途要）

学芸員の見どころトーク よそおいの美学

トーク：学芸員 安藤香織

日時：6月18日（日）午後2時～2時30分（開場：午後1時30分）

会場：徳川美術館 講堂

定員：80名（当日会場にて先着順）

料金：無料（入館料別途要）

香りをよそおう オリジナル香り袋・文香づくり

講師：春香堂 社長 小川薫氏

日時：7月9日（日）

午前の部：11時～12時（開場：10時30分）

午後の部：2時～3時（開場：1時30分）

会場：徳川美術館 講堂

定員：各60名（事前申し込み制・先着順）

参加費：2,200円（入館料別途要）

申込み：E-mailに、下記①～⑥を明記し < taiken@tokugawa.or.jp > までお申し込みください。

5月23日（火）一般受付開始

- ①氏名
- ②住所
- ③電話番号
- ④会員種別（賛助会・友の会・大学メンバーシップ）
- ⑤希望の部（午前または午後）
- ⑥参加人数

広報画像ならびに視聴者・読者プレゼント提供

特別展「よそおいの美学」を、ぜひ御社媒体にてご紹介ください。

画像を1点以上使用してご紹介いただいた場合、視聴者・読者プレゼントとして本展覧会の御招待チケット（非売品）を、1媒体5組10名様にご提供いたします。



<下記内容をメールまたは電話、ファックスにてお知らせください 利用期間：～2023年7月17日（月祝）まで>

希望画像番号

使用媒体

放送日・発売日

プレゼント提供 希望する ・ 希望しない

貴社名

ご担当者様

データ送付先アドレス

ご連絡先電話番号

[ご利用にあたっての注意事項]

- ・画像のご利用は本展覧会の紹介用途のみに限ります。
- ・部分アップのトリミングは可能ですが、色変更等の加工はご遠慮ください。
- ・二次利用不可です。
- ・画像には最低限「タイトル」と「所蔵」のクレジットを明記してください。
- ・内容確認のための校正原稿をお送りください。
- ・ご掲載誌、DVD等を1部「徳川美術館 管理部 広報宛」でお送りください。



徳川美術館

The Tokugawa Art Museum

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017

TEL：052-935-6262（10時～17時受付）

052-935-8222（営業時間外受付）

FAX：052-935-6261

担当：吉川 yuki@tokugawa.or.jp

竹内 d.takeuchi@tokugawa.or.jp